

小牧市ごみ処理基本計画の進捗状況について

1. 概要

一般廃棄物の処理においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）第6条の規定により、計画を定めた上で適正に行っていく必要があります。本市では「小牧市ごみ処理基本計画（以下「本計画」という。）」を定め、これに準拠して適正な一般廃棄物処理を推し進めています。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（抜粋）
 （一般廃棄物処理計画）
 第六条 市町村は、当該市町村の区域内の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければならない。

本計画では、基本理念を「資源循環型社会の構築」と掲げており、この理念達成のために3つの減量・資源化目標、4つの基本方針を設定しています。（計画22ページ以降）

「小牧市ごみ処理基本計画（令和2年度～令和6年度）」の該当ページを併せてご確認ください。

2. 進捗状況

ここでは、本計画に記載した「減量・再資源化目標値」と、「4つの基本方針」においての具体的な取り組みについて進捗を説明します。

なお、説明内でいくつか実績値を挙げていますが、より詳細な実績につきましては、次回の本審議会にて、本市のごみの実績を取りまとめた「清掃事業概要」を委員の皆様へ配布いたしますので、そちらをご参照ください。

★項目ごとに目標達成度を下記凡例に沿って評価します。

良好	例年維持	下降傾向
◎	○	△

●減量・再資源化目標値（計画P.24）

具体的に設定した3つの目標値を項目ごとにご説明します。

《家庭系ごみの1人1日あたりの排出量》

項目	R6実績	R7実績	目標値	達成度
★家庭系ごみの1人1日あたりの排出量	407.3g	400.5g	447g以下	◎

家庭系ごみの1人1日あたりの排出量については6.8g減となり、「良好」としました。

要因としては、令和2年度をピークに継続的に減少していることから、

人口減少や物価高、コロナ後の反動収束という外部要因に、本市の分別施策や周知啓発などの効果が相まって減少したと思われまます。

(家庭系ごみ排出量) (t)

項目	R6実績	R7実績
燃やすごみ(白袋)	19,001	18,711
破碎ごみ(赤袋)	1,607	1,476
資源(緑袋等)	7,694	7,695
粗大ごみ	1,495	1,415

《ごみ総排出量に対する資源化量の割合(再資源化率)》

項目	R6実績	R7実績	目標値	達成度
★再資源化率	37.6%	未計上	37.8%以上	-

R7年度の再資源化率(リサイクル率)については、取りまとめている最中ですので後日改めてご報告いたします。

また、毎年実施される環境省の「一般廃棄物処理事業実態調査」において、本市は全国人口10万人以上50万人未満の都市で6位という結果になりました。今後も推進してまいります。

(過去4年間の推移)

項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
再資源化率(%)	36.7%	36.6%	36.5%	37.3%	37.6%
県内順位(市)	1位	1位	1位	1位	1位
全国順位(人口10~50万人)	7位	7位	7位	6位	6位

《事業系ごみに占める資源の割合》

項目	R6実績	R7実績	目標値	達成度
★事業系ごみに占める資源の割合(%)	30.6%	30.1%	33%以上	△
事業系ごみ総排出量(t)	14,915	14,651		
事業系資源(t)	4,557	4,416		

事業系ごみに占める資源の割合については0.5ポイント減となりました。総排出量および資源量はいずれも減少しているものの、事業活動量や処理コスト、物価高等の影響により資源量の減少幅が相対的に大きくなったことから、資源の割合が低下したものと考えられます。

●各方針の具体的な取り組み実施状況（該当ページは項目ごとに記載）

小牧市ごみ処理基本計画は P22 から P33 となりますが、その中から
主な施策の項目のみをピックアップしました。

該当ページ	取り組み	R6	R7	推移
P.27	方針2 市民・事業者・行政の協働による3R推進			
	取組2 2R（リデュース、リユース）の強化推進			
	② リユースの推進			
	こども服リユース	○	○	→
	取組3 リサイクルによる適正な循環的利用の推進			
	① 家庭系ごみのリサイクルの推進			
P.28	雑がみの再生利用の推進	○	○	→
	剪定枝の再生利用の推進	◎	◎	↗
	市民による資源回収の促進	△	△	↘
	② 事業系ごみのリサイクルの推進			
P.29	民間再資源化施設への食品残渣や剪定枝類などの搬入促進	○	○	→
	方針3 柔軟なごみ収集の推進と適正なごみの処理			
	取組4 社会的ニーズや社会情勢等を踏まえた収集・処理体制の整備			
P.29	① 高齢化などへの対応			
	ごみ集積場の身近な配置とこまやか収集の実施	◎	◎	→
P.30	方針4 地域住民や事業者との協働による快適で清潔なまちづくり			
	取組6 地域住民等による自発的な地域美化の促進及び支援			
	① 地域のごみ集積場の清潔保持			
P.30	地域によるごみ集積場の設置・維持管理と市による指導等	◎	○	→

〈良好〉

方針 2・取組 3・①「剪定枝の再生利用の推進」についてです。資源収集量が前年度比 8% 程度増加となりました。

要因としては、継続的な啓発により剪定枝類が資源として集積場に出せることが市民に浸透してきたことや令和 5 年度に花・つるの品目が追加されたことに加え、近年の気温上昇、短時間強雨といった異常気象による植物の成長促進も関係があると思われます。

令和 8 年度も引き続き啓発を行い資源化に努めます。

方針 2 に関連する実績

資源収集量（剪定枝）				
項目	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績
剪定枝（t）	1,615	1,884	2,059	2,219

〈下降傾向〉

方針 2・取組 3・①「市民による資源回収の促進」についてです。回収量が前年度比 9% 程度減少となりました。

減少の要因としては、少子化や共働き家庭の増加に伴う担い手の減少、ペーパーレス化や民間古紙回収の充実などが挙げられます。昨年度末に実施した資源回収貢献団体等への感謝状贈呈をはじめ、申請手続きのオンライン化による負担軽減、活動団体数増加のため調査研究を実施いたします。

方針 2 に関連する実績

子ども会等による資源回収				
項目	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績
回収量（t）	613	533	411	373
実施回数	637	568	562	576

〈例年維持〉

方針 2・取組 2・②の「こども服リユース」についてです。小牧市ではこども服やマタニティ服のリユースを推奨しており、市内の児童館 8カ所で古着の入出庫を行っております。配布数は前年度比 2% の増加、利用者数も前年度比 3% の増加となりました。

また、令和 7 年 10 月 25 日（土）に市民まつりに併せて開催した「こども服リユースイベント」は、令和 6 年度と会場規模が異なることから、利用者数としては減少しましたが、午前午後ともにほぼ上限枠までご来場い

ただき、好評を得たことから、令和8年度も実施を予定しています。

方針2に関連する実績

こども服リユース						
	児童館			イベント		
項目	R5実績	R6実績	R7実績	R5イベント実績	R6イベント実績	R7イベント実績
配布数(点)	21,174	17,986	18,349	1,066	2,083	1,516
利用者数(人)	5,285	5,184	5,326	391	358	310

次に方針2・取組3・①の「雑がみの再生利用の推進」について、回収量は前年度比5%の減少となりました。要因としては、紙媒体の減少や電子化の進展による発生量そのものの減少が考えられますが、本市の雑がみについては他市と比較すると雑紙として排出できる品目が多いことから、対象となる雑紙を継続的に周知啓発してまいります。

方針2に関連する実績

資源収集量(雑がみ)				
項目	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
雑がみ(t)	707	672	697	660

次に方針2・取組3・②の「民間再資源化施設への食品残渣や剪定枝類などの搬入促進」についてです。小牧岩倉エコルセンターへの搬入を一部制限し、市内外の民間再資源化施設を積極的に活用することで再生利用を推進しており、令和7年度の資源化量は前年度比3%の減少となりました。

要因としては、事業活動量や処理コスト、物価高などの複合的な理由によるものと思われます。市内事業者の食品リサイクルについては、食品リサイクル事業者等と連携し、より一層推進していきます。

方針2に関連する実績

市外搬出量実績				
	R4	R5	R6	R7
剪定枝類(t)	3,996	4,272	4,101	3,953
食品残渣(t)	189	401	456	463
内バイオス小牧分(t)	(30)	(252)	(313)	(326)
合計(t)	4,185	4,673	4,557	4,416

次に方針３・取組４・①の「ごみ集積場の身近な配置とこまやか収集の実施」についてです。令和７年度では１３０世帯の新規申し込みがあり、内容等を確認した結果１１９世帯の新規収集を開始しましたが、死亡や施設入居等により８４世帯の収集を廃止しました。令和６年度から令和７年度では３５世帯分増加となりました。

年々排出が困難な高齢者等の世帯が増加していると思われるので、今後ともそのような世帯に対する支援を行っていきたいと考えております。

方針３に関連する実績

こまやか収集（世帯）			
R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
358	353	387	422

最後に方針４・取組６・①の「地域によるごみ集積場の設置・維持管理と市による指導等」についてです。市は地域からの要請に応じて不適正排出されたごみの特別収集を実施しごみ集積場の清潔保持を図っています。

不適正排出を確認した場合、可能な限り再分別し、また、個人情報を確認できるものについては訪問指導を行いました。

増加の要因としては、近年の分別方法の変更に伴う理解のばらつきに加え、世帯規模の縮小が進む中で、排出行動の多様化が影響している可能性があると思われます。

特別収集の数が減るよう適正な分別方法等の周知啓発強化、ごみ集積場利用者の適正排出を促していきます。

方針４に関連する実績

特別収集（件）			
R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
907	597	429	564
不適正排出対応件数（内指導件数）			
720 (288)	733 (394)	674 (366)	799 (371)

● その他

《新聞店回収量》

過去の審議会にて、ご意見のありました、新聞店の回収量について令和7年度の実績は下記のとおりです。行政回収量と新聞店及び資源回収団体の回収量を掲載しております。

資源回収品目別表（行政回収）（t） （※参考） ↓

項目	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
新聞	559.5	484.0	457.9	405.3
雑誌	458.5	412.5	359.7	303.5
段ボール	520.2	472.9	457.5	431.9
計	1538.2	1369.4	1275.2	1140.7

資源回収品目別表（新聞店）（t） （※参考） ↓

項目	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
新聞	552.7	509.66	486.52	464.73
雑誌	72.2	61.47	58.405	57.08
段ボール	3.2	3.0	3.405	0.18
計	628.1	574.13	548.33	521.99

資源回収品目別表（資源回収団体回収）（t） （※参考） ↓

項目	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
新聞	296.7	239.5	176.35	152.08
雑誌	123.5	103.6	82.76	74.07
段ボール	116.3	108.0	87.167	81.15
計	536.5	451.1	346.277	307.30

● 総括

全体的に概ね「例年維持」となり、一部「良好」としましたが、社会情勢等により「下降傾向」とした項目もありました。令和6年度と比較して家庭系ごみの排出量が大幅に減少していることから、ごみの発生抑制や分別意識の向上といった市民の行動変容が着実に進んでいるといえます。一方で、資源量が微増し、再資源化率も令和4年度から継続的に上昇していることから、「捨てるごみ」が「資源」として適切に分別・回収される流れが定着しつつあり、循環型社会形成に向けたこれまでの取組が一定の成果

を上げていると評価できます。今後も、この好循環を維持・発展させるため、引き続き発生抑制の推進と資源化率向上に取り組んでまいります。